

授業科目名・形態	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ 講義	必修・選別の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験有無	有	開講期	2年後期

### 【授業の主題】

本講義ではソーシャルワーク実践の土台となる、相談援助における人と環境との交互作用に関する理論とジェネラリストソーシャルワークについての基礎を学ぶ。その上で、多様なクライアントが抱える多様な問題に対する様々な実践モデルとアプローチの基礎を学ぶ。

### 【到達目標】

ソーシャルワークの定義と枠組み、構造と機能および様々なアプローチの理解

### 【授業計画・内容】

- 第 1回 ソーシャルワーク過程におけるアセスメント
- 第 2回 ソーシャルワーク過程におけるプランニング
- 第 3回 ソーシャルワーク過程におけるモニタリング及び効果測定
- 第 4回 ソーシャルワーク過程における終結及びアフターケア
- 第 5回 治療モデル、ストレングスモデル、生活モデル
- 第 6回 心理社会的モデル、機能的アプローチ
- 第 7回 問題解決アプローチ、課題中心アプローチ
- 第 8回 行動変容アプローチ、認知アプローチ
- 第 9回 危機介入アプローチ、エンパワーメントアプローチ
- 第10回 ナラティブアプローチ、解決志向アプローチ
- 第11回 さまざまなアプローチ
- 第12回 ソーシャルワークの面接の意義と目的
- 第13回 ソーシャルワークの面接の方法と実際
- 第14回 ソーシャルワークの記録
- 第15回 スーパービジョンとコンサルテーション

### 【授業実施方法】

講義形式

### 【教科書等】

最新社会福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法「共通科目」中央法規

### 【参考文献】

講義の中で紹介する

### 【授業準備】

事前に教科書を読んでおくこと

### 【主な関連科目】

ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）、ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ

### 【成績評価方法】

筆記試験又はレポート 80% 授業態度 20%で評価する

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

40年以上の実務経験で様々な相談援助を経験しており、あらゆる場面を想定し学生がどのように対応するかを考える機会を提示したい。

### 【学生へのメッセージ】

様々なアプローチを学ぶ機会となるが、1つのアプローチでは援助は困難であり、各アプローチの優位側面を組み合わせることで援助することが大切である。したがって、様々なアプローチの特徴を理解してほしい。